

## 2001年はボランティア国際年 市民総ボランティアの輪を広げよう

～ 耕そう・まこう・育てよう ～

ボランティア活動への理解を深めるために

「ボランティア入門・経験者講座」、「ボランティア講習会」、「青少年ボランティア体験」、  
「ボランティアまつり」を実施します。

積極的に参加してください(ボランティアニーズは、広報つるで毎月掲載します)。

### つなぎあい

#### 点字情報誌「こだま」

ボランティア「都留市点字友の会」が、社会福祉協議会日より「つるの福祉」を点訳した「こだま」を市内視覚障害者に送付しています。

#### 声の広報

「ボランティアサークルひびきの会」が、広報つる、市議会だよりを朗読し、テープに録音した「声の広報」を視覚障害者に送付しています。

#### ㊦ ホームページにて福祉の案内

現在市内保育園の詳細についてホームページに掲載していますが、逐次福祉の案内を掲載していきます。

#### ㊦ ボランティアボードの設置

ケア・アクションつるの柱であるボランティアを広く求めるため、市内各所にボードを設置します。また、CATVでもお知らせします。

#### 広報つる

「広報つる」に福祉の内容を毎月掲載します。

### やさしさ

#### 聴覚障害者へのFAX送付

聴覚障害者の方々に防災無線のアナウンスをファックスで知らせています。

#### バリアフリーの推進

いきいきプラザ都留や公園などの公共施設にスロープを設けたり、障害者用のトイレなどを設置しています。

#### ㊦ 福祉マップの作成

福祉サービスの内容や施設利用についての的確な情報を提供するため福祉マップを作成します。

#### ㊦ ユニバーサルデザインの推進

バリアフリーは社会生活における様々な障害をなくそうという概念です。バリアフリーの概念を受けて、障害者や高齢者を区別することなく、誰にでも使いやすい空間設計(公共サインの体系的・一体整備)を推進します。特に山梨県では障害者幸住条例を設けこれらを推進しており、地元商店や企業などに積極的にPRしていきます。また、各種申請書類の文字も大きくします。

#### ㊦ おもちゃ図書室

いきいきプラザ都留に設置してあるおもちゃ図書室で、主任児童委員などのボランティアにより、読み聞かせを実施します。

### ふれあい

#### ふれあい・いきいきサロン

民生委員・児童委員や市民ボランティアの自主的な取り組みにより、集会所や公民館などで高齢者の寝たきり・痴ほう予防や生きがいづくりのためにサロンを行っています。

#### ドリームまつり

福祉施設や小規模作業所など相互の交流を図るとともに、地域住民が積極的に参加して、障害者への理解を深め、共生社会の促進が図られています。この祭りのアシスタントは、ボランティアです。

#### 施設慰問

保育園児などが手作りのプレゼントや手紙を持参して施設を慰問し、お年寄りと子どもの交流が図られています。

#### ㊦ 花いっぱい運動

障害のある皆さんが地域の一員として市民活動に積極的に参加できることが何よりも大切です。自分たちで花を育て環境美化に参加し、花いっぱい運動の輪が広がり、健常者も障害のある人も共に暮らせる社会づくりを進めます。

#### ㊦ 高齢者友愛訪問

一人暮らしの身体が虚弱なお年寄りを都留市老人クラブ連合会の高齢者友愛訪問指導者を中心としたボランティアが訪問し、高齢者の生きがいの増進などを図ります。

#### ㊦ お年寄りと子どものふれあい交流

各自治会単位でボランティア小学生・中学生の登録を呼びかけ、登録した小・中学生はそれぞれの担当地区の一人暮らし老人を定期的に訪問し、友好を深めるとともに、子どもたちはお年寄りからの知恵を、お年寄りは子どもたちから元気をもらいます。

#### ㊦ ふれあいショップの開設

高齢者、障害者及び市民ボランティアによって製作された物品の販売コーナーをいきいきプラザ都留に設置します。

#### ㊦ ふれあいベンチの設置

企業や住民から廃材(丸太など)の提供を受け、お年寄りや子どもが市民ボランティアの協力を得てベンチを製作し、遊園地などに設置します。

#### ㊦ ふれあいホストファミリー

都留文科大学学生と一人暮らし老人などの交流を推進します。